

令和元年度 伴走型小規模事業者支援推進事業
広島安佐商工会 景況感・会員ニーズ調査

調査報告書

令和2年1月

広島安佐商工会

目 次

1.	調査の概要	1
2.	調査結果	1
	＜景況感について＞	
	（1） 前期と比べた今期の状況について	2
	＜会員ニーズについて＞	
	（1） 商工会サービス利用の現状について	
	（2） 商工会への期待と役割について	
	（3） 本支所間のサービスの集約について（自由記載）	
	（4） 商工会への要望について（自由記載）	
3.	まとめ	13
	（1） 現状の課題について	13
	（2） 今後の商工会の取組みについて	13
	各種統計情報のまとめ（令和元年9月調査）	14

1. 調査の概要

調査対象：広島安佐商工会の会員事業者 119 事業者
調査期間：2019 年 8 月 ～ 12 月
調査方法：事業者への郵送・巡回・窓口でのヒアリング
回収数：119 社

【業種内訳】

業種	回収数	構成比
製造業	18	15.1%
建設業	20	16.9%
小売業	25	21.0%
サービス業	28	23.5%
その他	28	23.5%
産業全体	119	100.0%

2. 調査結果

＜産業全体＞

○産業全体の状況としては、前期と比較し今期は全ての調査項目で DI 値（「増加（好転）」から「減少（悪化）」引いた値）がマイナスの値となった。また、全国調査（小規模企業景況動向調査）と比較（「売上高」「資金繰り」「業界の業況」）すると、「売上高」「資金繰り」については全国値よりそれぞれ 0.6 ポイント、0.4 ポイント高い値となったものの、DI 値としては、当会の調査値も全国での調査値もマイナスとなっており、大変厳しい状況となっている。
調査期間中の令和元年 10 月（2019 年 10 月）には消費税が 10% となり、小規模事業者をとりまく経営環境はより厳しさを増している。

＜製造業＞

○今期の状況は「客数」のみ「増加（好転）」「減少（悪化）」が同数となっており、それ以外の項目「売上高」「景況感」「資金繰り」「取引先の景況」「業界の業況」はすべてマイナスとなっており、特に「業界の業況」は全国調査値「▲25.2」に対し「▲52.9」と「減少（悪化）」となっており厳しい状況が見受けられる。

＜建設業＞

○今期の状況は「売上高」「景況感」「客数」「資金繰り」「取引先の景況」「業界の業況」すべてマイナスとなっており、全国調査値と比較しても「売上高」全国調査値「▲6.1」に対し「▲25.0」、「資金繰り」全国調査値「▲13.0」に対し「▲20.0」、「業界の業況」全国調査値「▲9.6」に対し「▲25.0」と、全国調査と比較しても厳しい状況となっている。

＜小売業＞

○今期の状況は「売上高」「景況感」「客数」「資金繰り」「取引先の景況」「業界の業況」すべてマイナスとなっており、全国調査値と比較しても「売上高」全国調査値「▲34.7」に対し「▲44.0」、「資金繰り」全国調査値「▲23.2」に対し「▲48.0」、「業界の業況」全国調査値「▲35.4」に対し「▲58.3」と、建設業と同様厳しい状況がみられる。特に「資金繰り」「業界の業況」については全国調査値と比較しても大きく差があり、当会地域においては全国より厳しい状況となっている。

＜サービス業＞

○今期の状況は「売上高」「景況感」「客数」「資金繰り」「取引先の景況」「業界の業況」すべてマイナスとなっており、全国調査値との比較では「業界の業況」が全国調査値「▲21.0」に対し「▲46.4」と大きく差がある。「売上高」については全国調査値「▲24.4」に対し「▲14.3」「資金繰り」については全国調査値「▲14.4」に対し「▲7.1」となっている。

＜景況感について＞

(1) 前期と比べた今期の景況動向について

① 産業全体の状況（売上額、採算、資金繰り、業況）

○前期と比べた今期の状況において、産業全体ではすべての項目で「増加（好転）」から「減少（悪化）」引いたDI値がマイナスとなった。

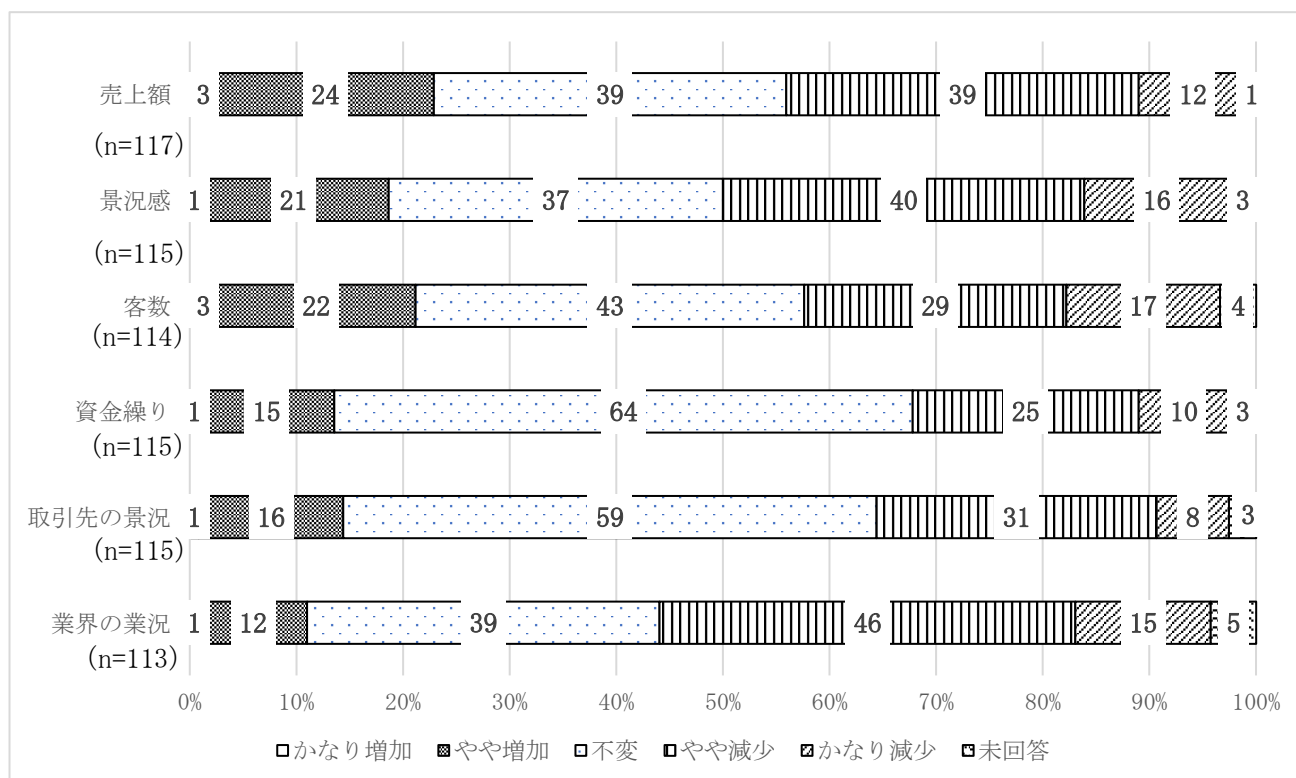


図1 産業全体の状況（売上額、景況感、客数、資金繰り、取引先の景況、業況）

項目	本調査				全国調査 DI値	全国調査 との差
	増加(好転)	不変	減少(悪化)	DI値		
売上高 (n=117)	23.1	33.3	43.6	▲ 20.5	▲ 21.1	0.6
景況感 (n=115)	19.1	32.2	48.7	▲ 29.6	—	—
客数 (n=114)	21.9	37.7	40.4	▲ 18.5	—	—
資金繰り (n=115)	13.9	55.7	30.4	▲ 16.5	▲ 16.9	0.4
取引先の景況(n=115)	14.8	51.3	33.9	▲ 19.1	—	—
業界の景況 (n=113)	11.6	34.8	53.6	▲ 42.0	▲ 22.8	▲ 19.2

表1 産業全体の状況（売上額、採算、資金繰り、業況）

※DI値は、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

※全国調査とは、全国商工会連合会が実施する「小規模企業景気動向調査（令和元年10月より）」

「—」の項目は小規模企業景気動向調査にない項目の為未記載

② 業種別の状況（売上高）

○売上額を業種別にみると、最も良かったのがサービス業（DI 値▲14.3）で、最も悪かったのが小売業（DI 値▲44.0）だった。どの業種も軒並みマイナス値となっており、全国調査の DI 値と比較した場合、産業全体の売上高は 0.6 ポイント、サービス業では 10.1 ポイント高いものの、製造業（▲8.4 ポイント）、建設業（▲18.9 ポイント）、小売業（▲9.3 ポイント）となっており、当会エリア、全国ともに前年から悪化をしている。

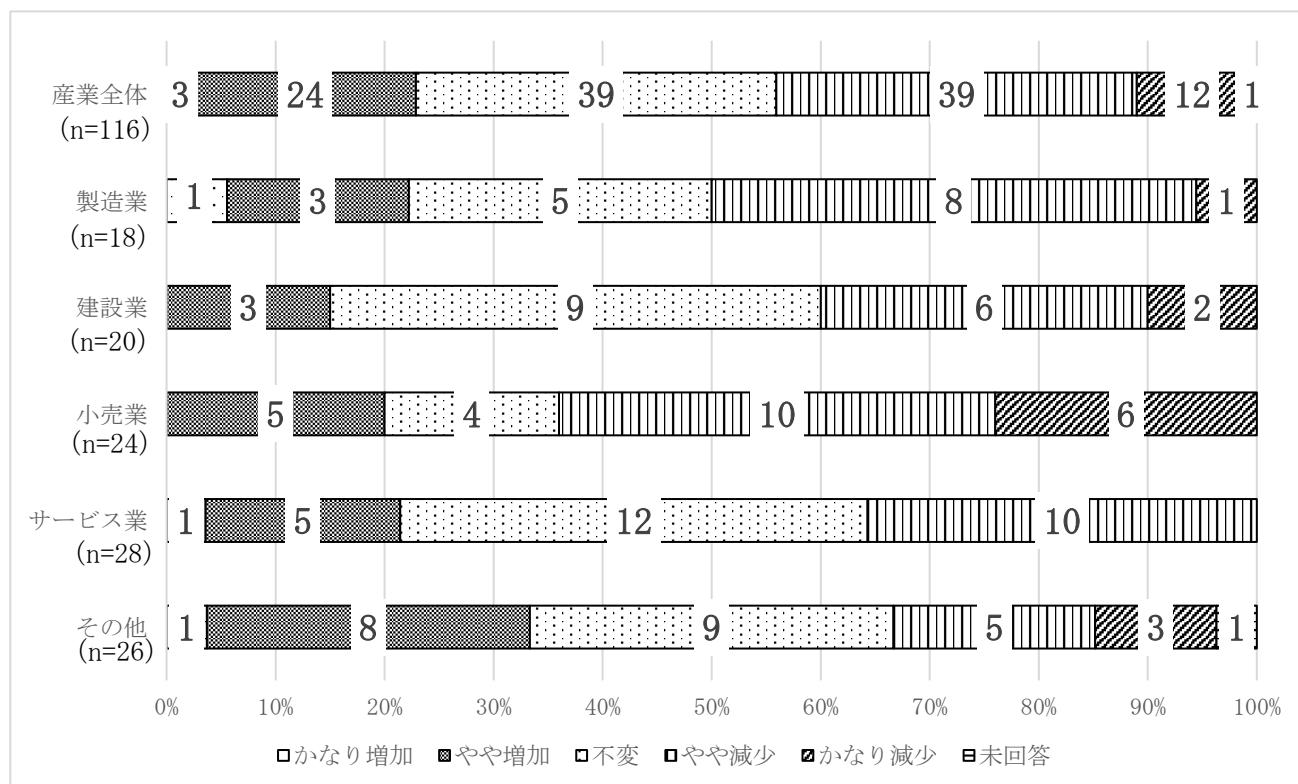


図 2 業種別の状況（売上額）

売上高						
項目	本調査				全国調査 DI値	全国調査 との差
	増加(好転)	不変	減少(悪化)	DI値		
産業全体 (n=117)	23.1	33.3	43.6	▲ 20.5	▲ 21.1	0.6
製造業 (n=18)	22.2	27.8	50	▲ 27.8	▲ 19.4	▲ 8.4
建設業 (n=20)	15	45	40	▲ 25.0	▲ 6.1	▲ 18.9
小売業 (n=25)	20	16	64	▲ 44.0	▲ 34.7	▲ 9.3
サービス業 (n=28)	21.4	42.9	35.7	▲ 14.3	▲ 24.4	10.1

表 2 業種別の状況（売上額）

※DI 値は、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

※全国調査とは、全国商工会連合会が実施する「小規模企業景気動向調査（令和元年 10 月より）」

③ 業種別の状況（景況感）

○景況感を業種別にみると、最も良かったのがサービス業（DI 値▲17.8）で、最も悪かったのが小売業（DI 値▲60.0）だった。特に小売業については、従来よりの消費の伸び悩み、大型店舗との競争、令和元年 10 月の消費増税等小規模店舗には厳しい経営状況が続いている。

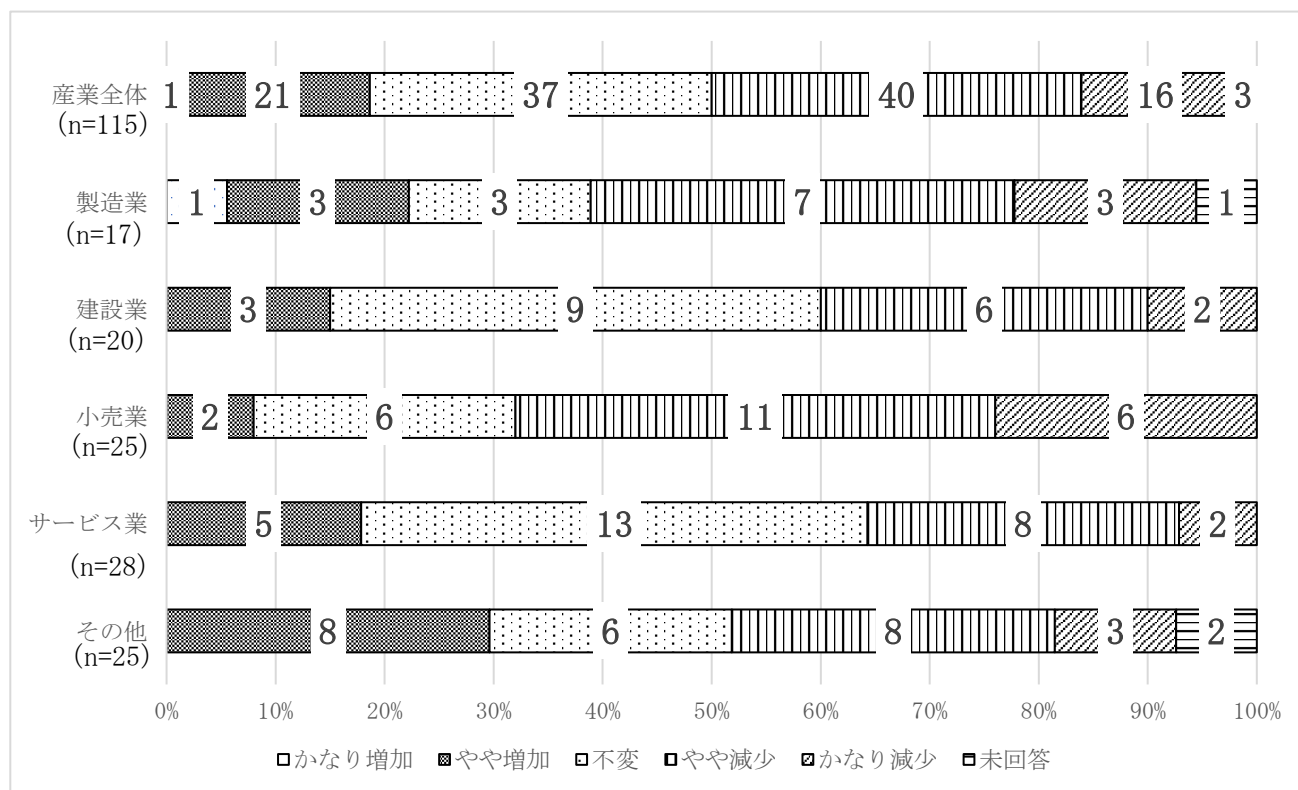


図 3 業種別の状況（景況感）

景況感						
項目	本調査				全国調査 DI値	全国調査 との差
	増加	不変	減少	DI値		
産業全体 (n=115)	19.1	32.2	48.7	▲ 29.6	－	－
製造業 (n=17)	23.5	17.7	58.8	▲ 35.3	－	－
建設業 (n=20)	15	45	40	▲ 25.0	－	－
小売業 (n=25)	8	24	68	▲ 60.0	－	－
サービス業 (n=28)	17.9	46.4	35.7	▲ 17.8	－	－

表 3 業種別の状況（景況感）

※DI 値は、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

※全国調査とは、全国商工会連合会が実施する「小規模企業景気動向調査（令和元年 10 月より）」

「－」の項目は小規模企業景気動向調査にない項目の為未記載

④ 業種別の状況（客数）

○客数について業種別にみると、最も良かったのが製造業（DI 値 0.0）で、最も悪かったのが小売業（DI 値▲50.0）だった。

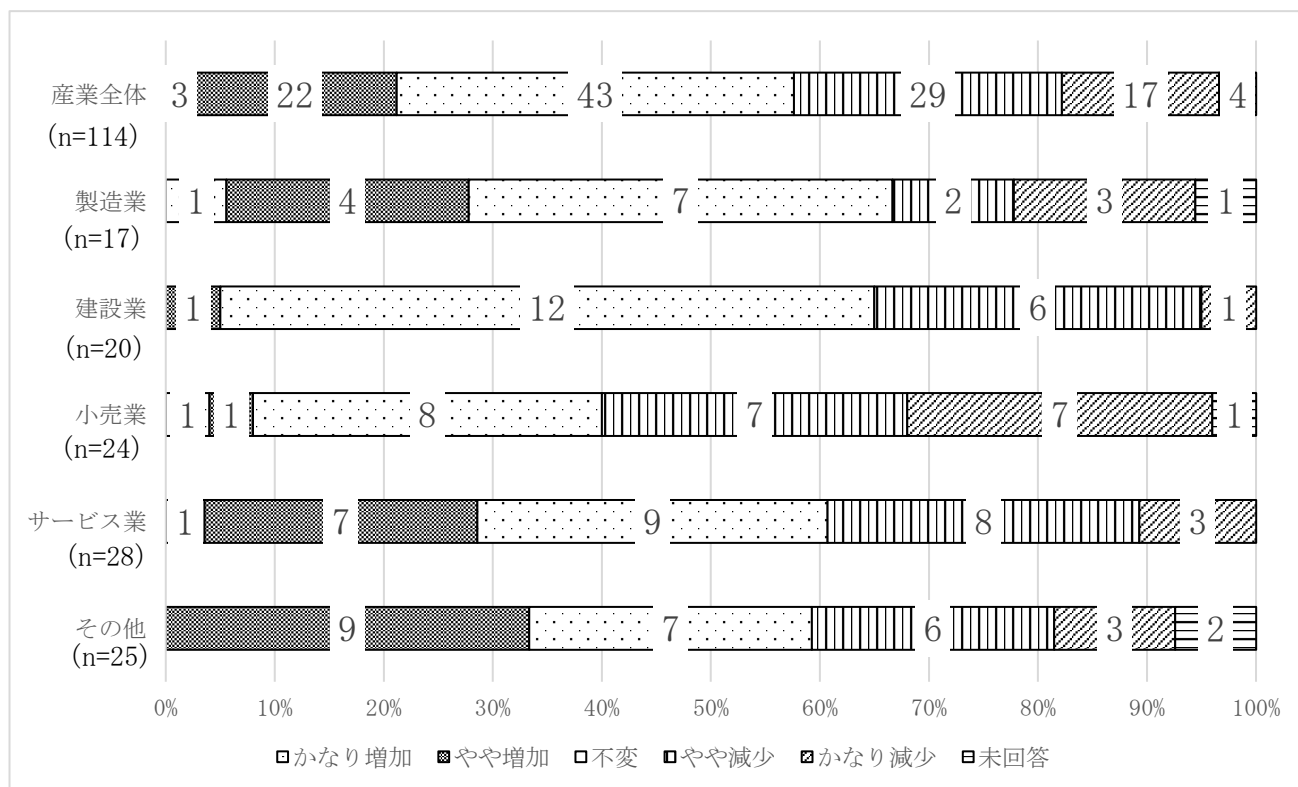


図 4 業種別の状況（客数）

客数						
項目	本調査				全国調査 DI値	全国調査 との差
	増加	不変	減少	DI値		
産業全体 (n=114)	21.9	37.7	40.4	▲ 18.5	－	－
製造業 (n=17)	29.4	41.2	29.4	0.0	－	－
建設業 (n=20)	5	60	35	▲ 30.0	－	－
小売業 (n=24)	8.3	33.4	58.3	▲ 50.0	－	－
サービス業 (n=28)	28.6	32.1	39.3	▲ 10.7	－	－

表 4 業種別の状況（資金繰り）

※DI 値は、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

※全国調査とは、全国商工会連合会が実施する「小規模企業景気動向調査（令和元年 10 月より）」

「－」の項目は小規模企業景気動向調査にない項目の為未記載

⑤ 業種別の状況（資金繰り）

○資金繰りについて業種別にみると、最も良かったのがサービス業（DI 値▲7.1）で、最も悪かったのが小売業（DI 値▲48.0）だった。

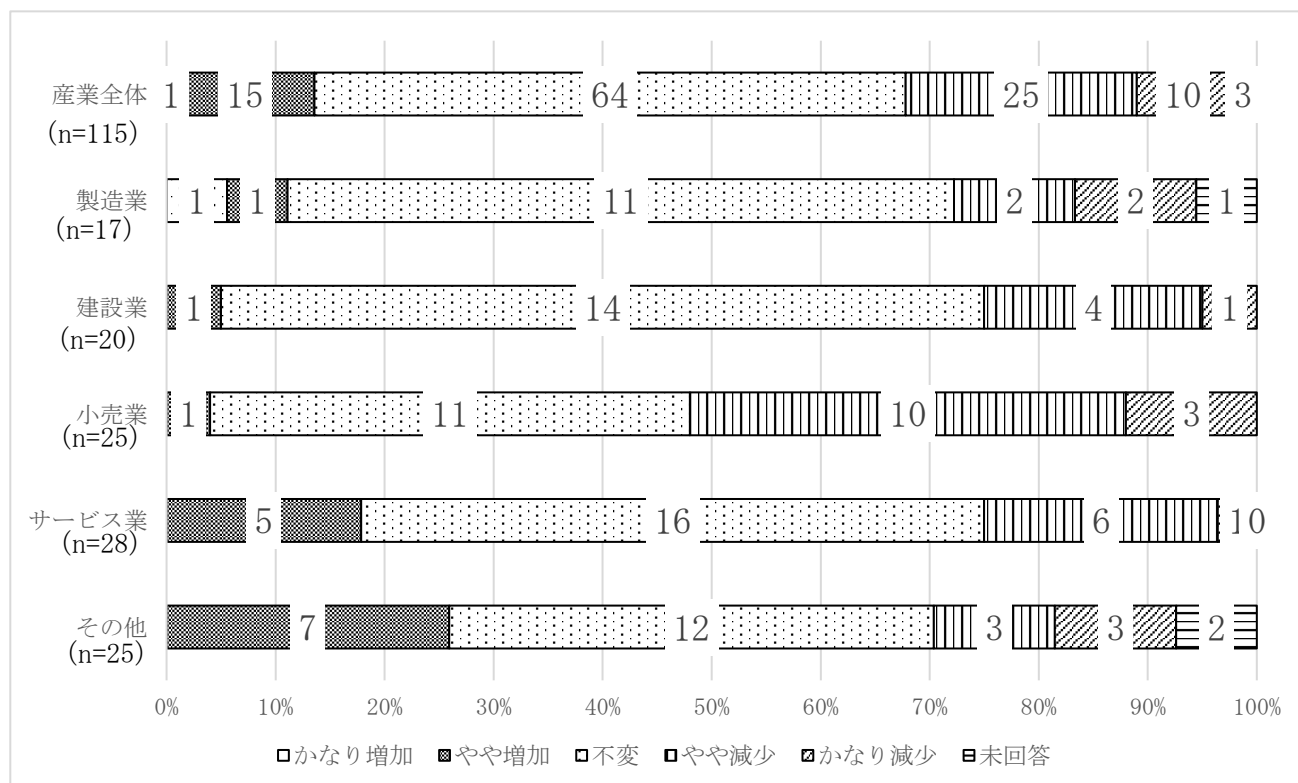


図 5 業種別の状況（資金繰り）

資金繰り						
項目	本調査				全国調査 DI値	全国調査 との差
	増加	不変	減少	DI値		
産業全体 (n=115)	13.9	55.7	30.4	▲ 16.5	▲ 16.9	0.4
製造業 (n=17)	11.8	64.7	23.5	▲ 11.7	▲ 17.0	5.3
建設業 (n=20)	5	70	25	▲ 20.0	▲ 13.0	▲ 7.0
小売業 (n=25)	4	44	52	▲ 48.0	▲ 23.2	▲ 24.8
サービス業 (n=28)	17.9	57.1	25	▲ 7.1	▲ 14.4	7.3

表 5 業種別の状況（資金繰り）

※DI 値は、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

※全国調査とは、全国商工会連合会が実施する「小規模企業景気動向調査（令和元年 10 月より）」

⑥ 業種別の状況（取引先の景況）

○取引先の景況を業種別にみると、最も良かったのがサービス業（DI 値▲10.7）で、最も悪かったのが製造業（DI 値▲35.3）だった。

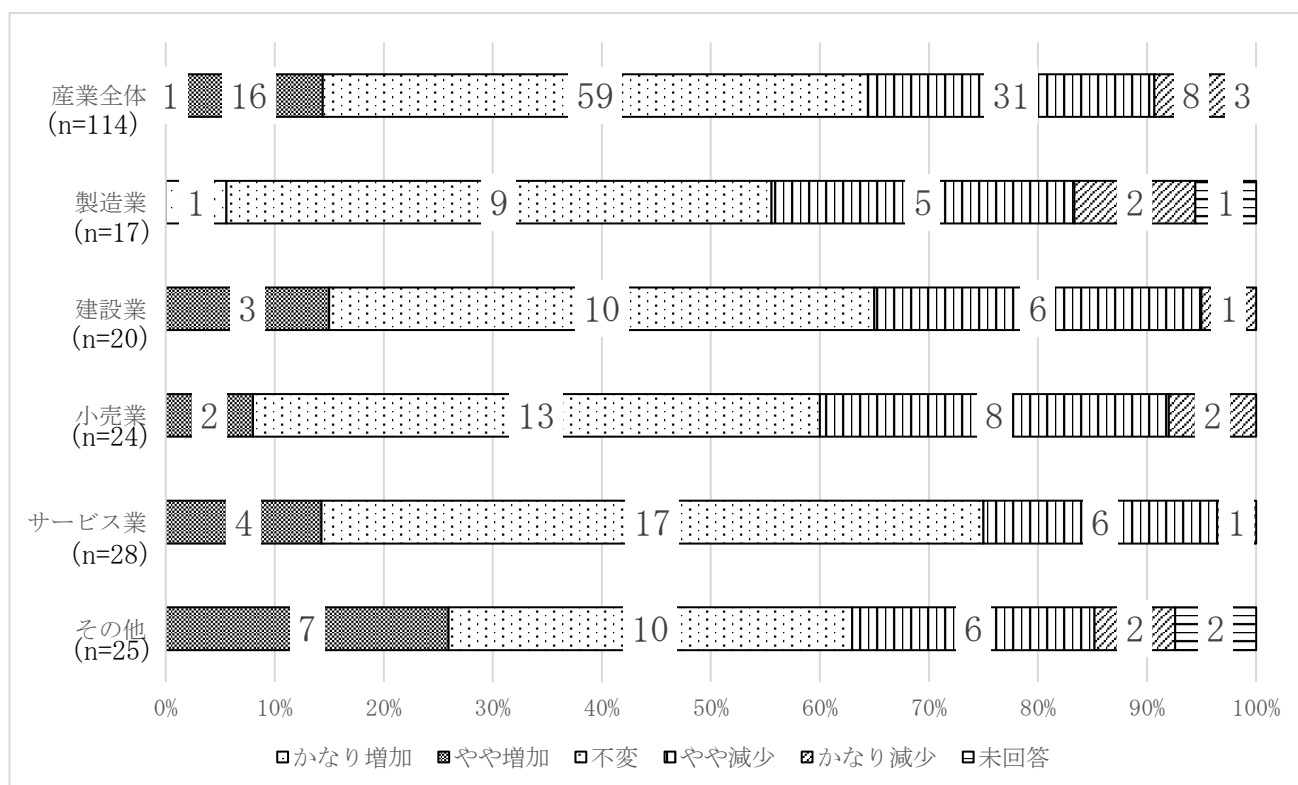


図 6 業種別の状況（取引先の景況）

取引先の景況						
項目	本調査				全国調査 DI値	全国調査 との差
	増加	不変	減少	DI値		
産業全体 (n=115)	14.8	51.3	33.9	▲ 19.1	－	－
製造業 (n=17)	5.9	52.9	41.2	▲ 35.3	－	－
建設業 (n=20)	15	50	35	▲ 20.0	－	－
小売業 (n=25)	8	52	40	▲ 32.0	－	－
サービス業 (n=28)	14.3	60.7	25	▲ 10.7	－	－

表 6 業種別の状況（取引先の景況）

※DI 値は、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

※全国調査とは、全国商工会連合会が実施する「小規模企業景気動向調査（令和元年 10 月より）」

「－」の項目は小規模企業景気動向調査にない項目の為未記載

⑦ 業種別の状況（業界の業況）

○業界の業況を業種別にみると、最も良かったのが建設業（DI 値▲25.0）で、最も悪かったのが小売業（DI 値▲58.3）だった。

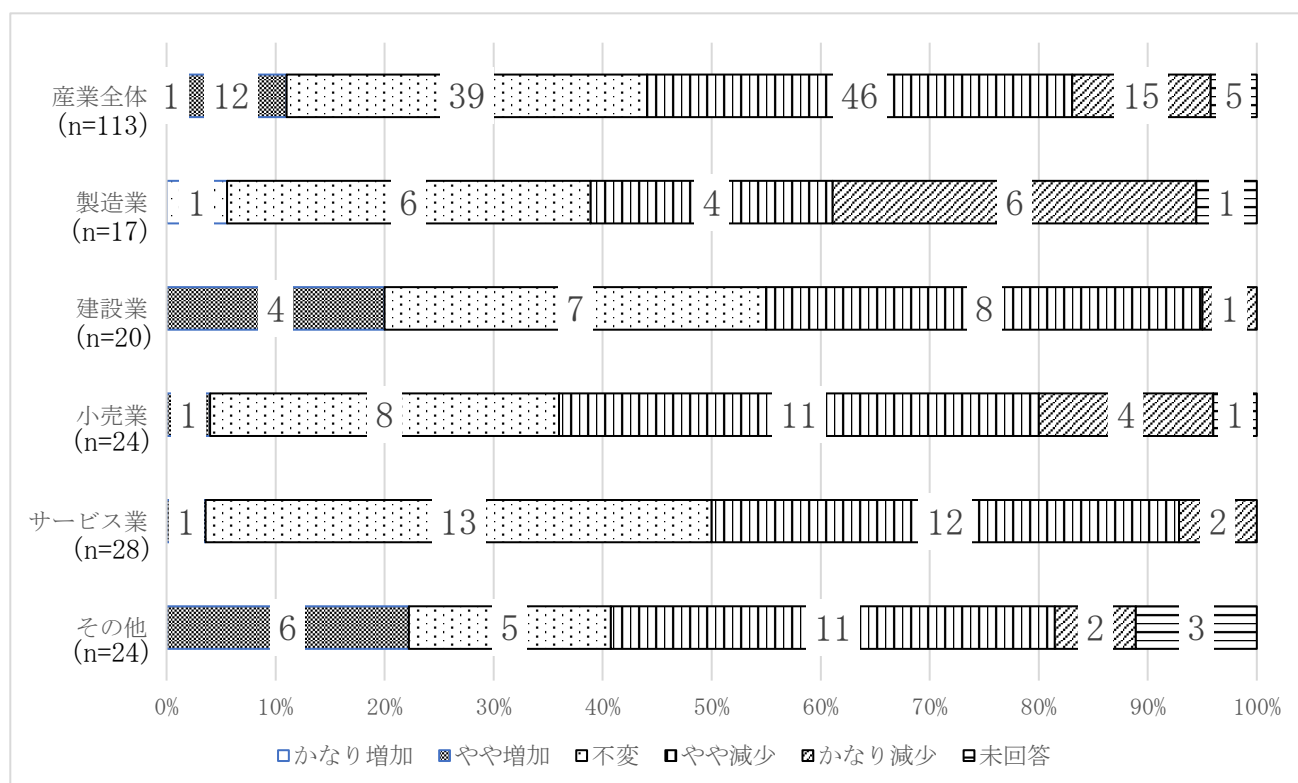


図 7 業種別の状況（業界の景況）

業界の景況						
項目	本調査				全国調査 DI値	全国調査 との差
	増加	不変	減少	DI値		
産業全体 (n=113)	11.6	34.8	53.6	▲ 42.0	▲ 22.8	▲ 19.2
製造業 (n=17)	5.9	35.3	58.8	▲ 52.9	▲ 25.2	▲ 27.7
建設業 (n=20)	20	35	45	▲ 25.0	▲ 9.6	▲ 15.4
小売業 (n=24)	4.2	33.3	62.5	▲ 58.3	▲ 35.4	▲ 22.9
サービス業 (n=28)	3.6	46.4	50	▲ 46.4	▲ 21.0	▲ 25.4

表 7 業種別の状況（業界の景況）

※DI 値は、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

※全国調査とは、全国商工会連合会が実施する「小規模企業景気動向調査（令和元年 10 月より）」

＜会員ニーズについて＞

(1) 商工会サービス利用の現状について

これまでに利用したことのある商工会サービス

順位	サービス内容	回答数	順位	サービス内容	回答数
1 位	記帳に関する相談	45	7 位	小規模企業共済制度	28
2 位	決算代行に関する相談	39	9 位	福利厚生部会 日帰り旅行	27
3 位	経営指導員による相談	36	10 位	各種共済制度	26
4 位	税金に関する相談	34	11 位	専門家派遣の利用	25
5 位	新年互例会への参加	33	12 位	商業部会 年末謝恩セールへの参加	23
6 位	融資に関する相談	32	13 位	労働保険に関する相談	18
7 位	補助金申請の支援	28	14 位	女性部 活動	17

記帳代行先の会員に回答いただいたこともあり、記帳相談・決算代行・税務相談が上位となっているが、その中で記帳・税務だけでなく経営全般を経営指導員に相談している現状もある。続いて融資相談・補助金申請の利用が上がっており、上記の経営指導員への相談の内容がこれらに代表されると思われる。さらに、新年互例会・日帰り旅行などが商工会との関わりのポイントとなっていることがわかる。

(2) 商工会への期待と役割について

①今後活用してみたいサービス

順位	サービス内容	回答数	順位	サービス内容	回答数
1 位	講習会への参加	27	8 位	融資に関する相談	16
2 位	経営指導員による相談	22	9 位	福利厚生部会 日帰り旅行	15
3 位	専門家派遣の利用	22	9 位	地元事業者間での交流会	15
4 位	補助金申請の支援	19	11 位	商業部会 年末謝恩セールへの参加	12
4 位	税金に関する相談	19	12 位	労働保険に関する相談	10
6 位	記帳に関する相談	18	12 位	集団健診の受診	10
6 位	決算代行に関する相談	18	12 位	小規模企業共済制度	10

これから利用したいサービスとしては講習会への参加が最も多く、続いて経営指導員に相談することでそこから専門家派遣、補助金申請、融資相談に繋げるといった活用を希望する回答が多く、これまで記帳・税務・決算のみで来所しておられた層も自社の経営改善の意識が高まっていることが伺える。続いて日帰り旅行や地元事業者間の交流会など、商工会を異業種交流の場として有効に活用したいとの意見も少なくない。

②参加してみたい講習会・相談会のテーマについて

順位	サービス内容	回答数	順位	サービス内容	回答数
1 位	事業計画策定	20	7 位	IT 活用支援	12
2 位	税務関係	18	8 位	事業承継の支援	11
2 位	販売促進	18	9 位	業種別講習会	9
4 位	法律関係	15	10 位	労務雇用関係	7
5 位	融資関係	14	10 位	その他	7
6 位	キャッシュレス決済関係	13	12 位	事業継続計画(災害対策)	6

前設問において、講習会への参加の希望が多かったが、その中で事業計画策定への意識が強く、続いて税務関係・販売促進関係が上位となっている。ここ近年開催した実績では事業計画策定セミナーよりも販促セミナーの参加数が多いといった傾向があるが、経営改善のために計画策定の必要性は感じておられるようだ。法律相談・融資相談またキャッシュレス決済関係への希望も多く、今後の開催への参考となる。

(3) 本支所間のサービス集約についての意見、(自由記述)

<反対派> ・集約に問題はないが、遠くなるのは不便、利用しにくい 2 件 ・今までとおり支所で対応・支援してほしい 2 件 ・集約化は困るのでやめてほしい 2 件 ・できれば本所に出向かなくてすむように	7 件 〔内 安佐 5 件〕 〔 佐東 2 件 〕
<賛成派> ・集約の方向が望ましい ・集約に問題ない	2 件 〔内 可部 1 件〕 〔 安佐 1 件 〕
3 支所の情報を共有すべき	1 件
本所の駐車場が少ない	1 件

本所・佐東支所・安佐支所の 3 支所にて行っているサービスについて、部分的に集約し業務の効率化を目指しているが、それが会員サービスの低下にならないような形と取る必要があるため、意見を求めたいところである。それに関する回答は 11 件と少なかったものの、集約反対の意向が 7 件と多数派であり、その内の 5 件は安佐支所の会員であり、距離的なことが要因となっていると思われる。

(4) 商工会にサポートしてほしい支援等の要望について（自由記述）

<経営相談・巡回>

- ・経営相談をさらに強化して個社支援に特化してもらいたい。
- ・自社に何が必要で何が不必要のかななどを客観的に見て、真の問題点を教えてほしい。
- ・巡回サービスの向上
- ・全般的な支援をお願いしたい。
- ・将来的には廃業になるだろうと思っており、そのタイミング等について相談したい
- ・将来の事業展開について
- ・決算、税務

<専門家派遣>

- ・専門家の派遣事業 2件

<ビジネスマッチング>

- ・会員同士のつながりが持てる場をつくってほしい（ビジネスマッチング）
- ・マッチング互助のシステムを作してほしい

<その他>

- ・接客サービス業やIT系の勉強会があればいい
- ・貸家（一戸建て）の有効な活用方法
- ・一泊の旅行はどうか
- ・地域にあるという利点がいかせておらず、うまく利用できない。
- ・商工会のサービスを知らない方が多い。ここ最近の様にチラシ等によるPRが効果的
- ・商工会との関わりをもっと増やせば、色々な仕組み、制度がわかるので、教えてほしい。

3. まとめ

(1) 現状の課題について

当商工会のエリアは3支所それぞれの地域で産業構造・地域特性が異なる中で、本アンケートは3支所の会員事業所に回答いただいたものである。支所ごとの分析はしていないが、産業全体を見ても業況は悪化の一途をたどっていることは昨年と変わらない状況である。特に「資金繰り」の悪化の度合いよりも「景況感」については消費税が10%に増税となったことにより、肌感覚として悪化している印象が強くなっているものと思われる。

事業所における課題としては、自社の財務分析を行うことで感覚だけではなく、より実数としての現状把握をした上でそれぞれの課題を抽出し営業活動に結び付ける必要がある。当会としても地域ごとの分析を行い、その課題ごとに具体的な支援策を提供することに努めなければならない。

(2) 今後の商工会の取組みについて

商工会が提供する各種事業・サービスについて、会員事業所の視点でどのように評価されているか、またどういった分野に期待があるのかなどを知り、今後当会の事業展開に反映させ、会員サービスの向上に繋げていく目的で本アンケートを実施した。

これまで、商工会を利用する機会としては、記帳・税務・労務などの代行や相談といったイメージが強かったが、今後は自社の経営そのものの改善に向けて、事業計画策定・販路開拓などのテーマでのセミナーや経営指導員や専門家による個別相談を期待する傾向があることがわかり、商工会は事業所の事務代行サービスをするだけでなく、総合的に経営相談ができる機関であるというイメージも徐々に強くなっていると思われる。また、地域での異業種交流のできる貴重な場を提供できるという側面もあり、そこからビジネスマッチングに繋げていく流れが期待されていることも見逃せない。今後より多くの会員事業所に、より多面的にサービスを利用していただくことができるよう、チラシやHPなどの広報発信に力を入れ、地域で必要とされる商工会、期待される商工会を目指さなくてはならない。

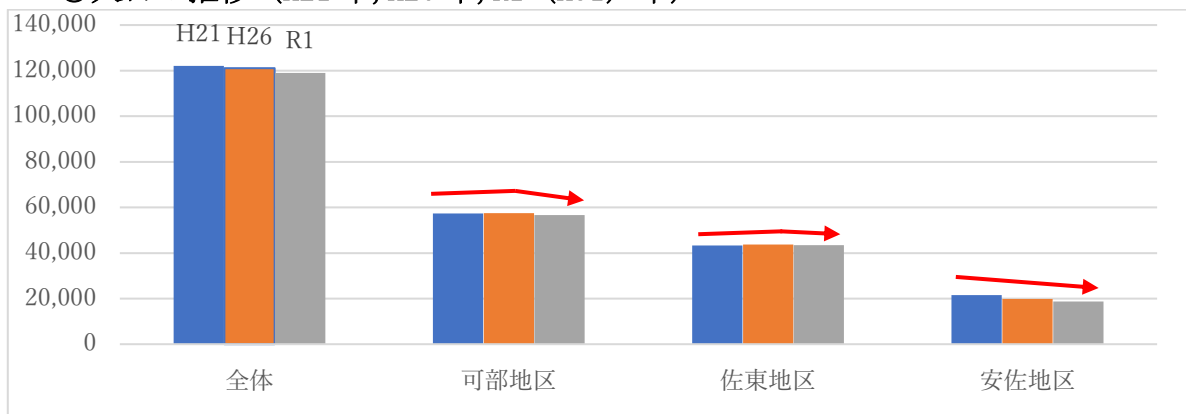
各種統計情報のまとめ(令和1年9月調査)

当商工会エリア(可部・安佐・佐東)の今年度(令和1年9月現在)の統計情報を整理しております。地区の情報の参考資料としてご活用ください。

- ・「可部地区」: 可部・可部東・可部南・亀山・亀山南・亀山西・三入・三入東・三入南・大林・大林町・可部町
- ・「安佐地区」: 安佐町・あさひが丘
- ・「佐東地区」: 川内・八木・八木町・緑井・緑井町

1. 地域の人口・世帯数の推移

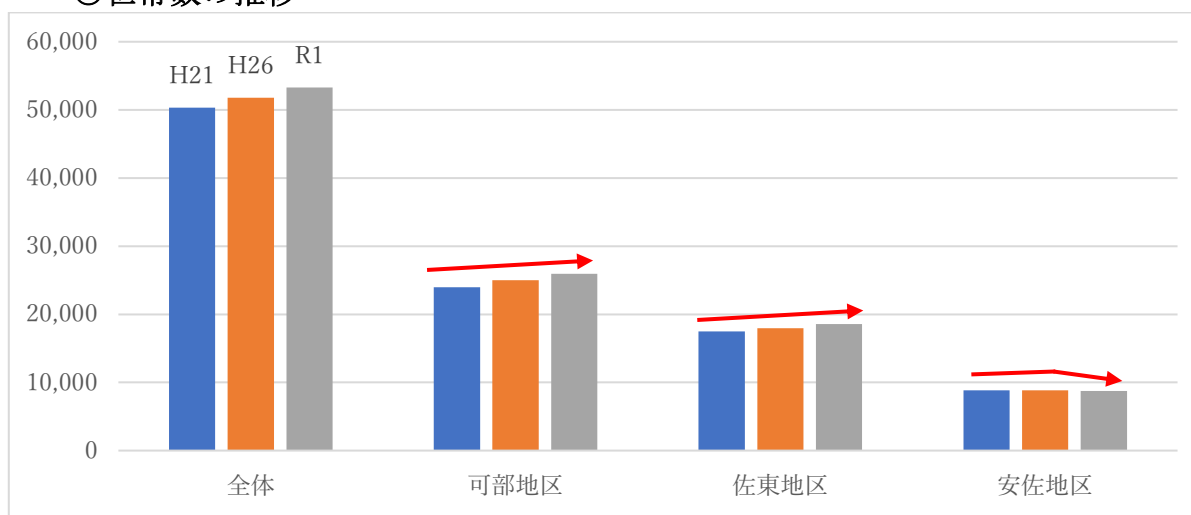
○人口の推移(H21年, H26年, R1(H31)年)



人口の推移

地区	H21年9月		H26年9月		R1(H31)年9月		R1(H31)/H21	
	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	増減率
可部地区	57,296	46.9%	57,416	47.2%	56,693	47.7%	▲ 603	-1.1%
佐東地区	43,330	35.3%	43,776	36.1%	43,474	36.6%	144	0.3%
安佐地区	21,464	17.8%	19,900	16.7%	18,768	15.8%	▲ 2,696	-12.6%
総数	122,090	100.0%	121,092	100.0%	118,935	100.0%	▲ 3,155	-2.6%

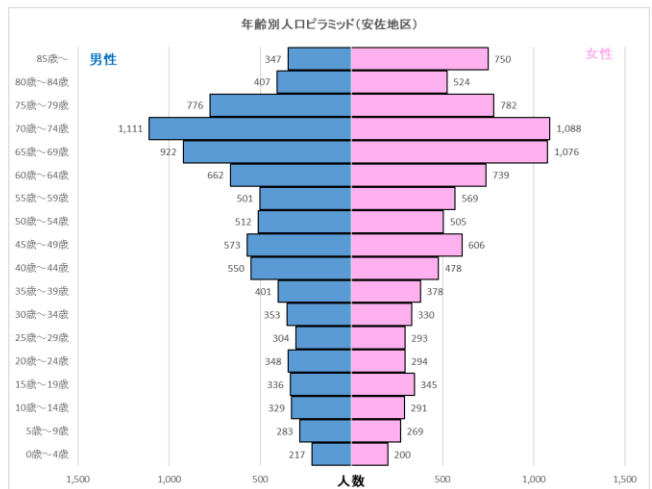
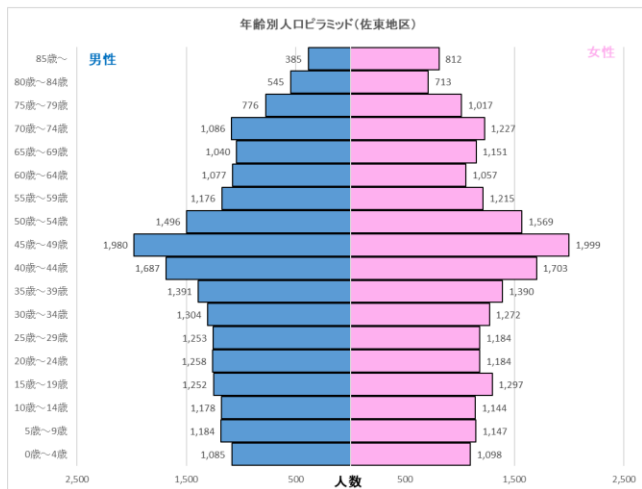
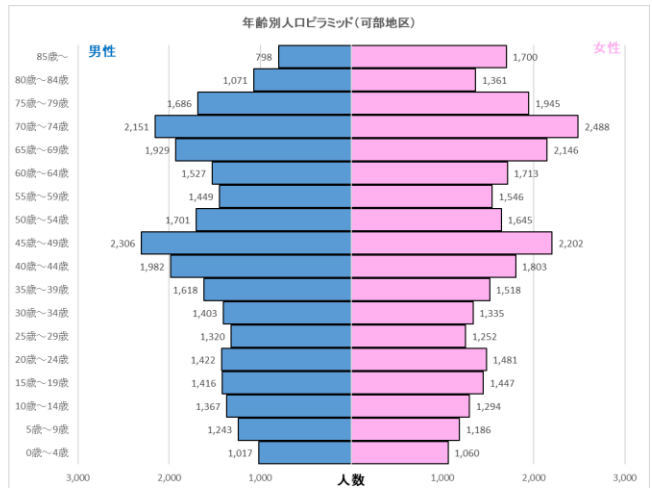
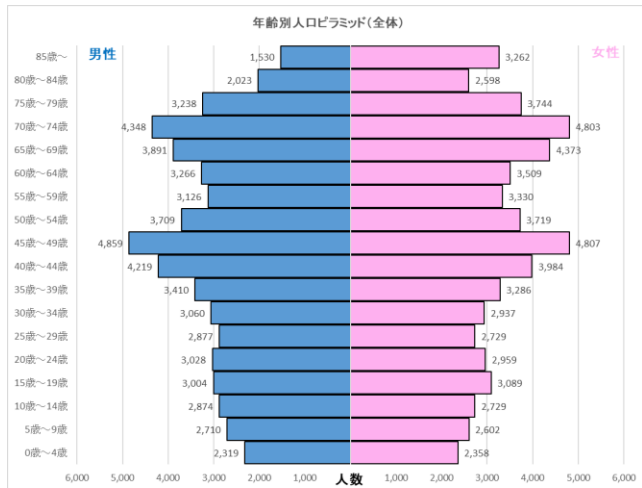
○世帯数の推移



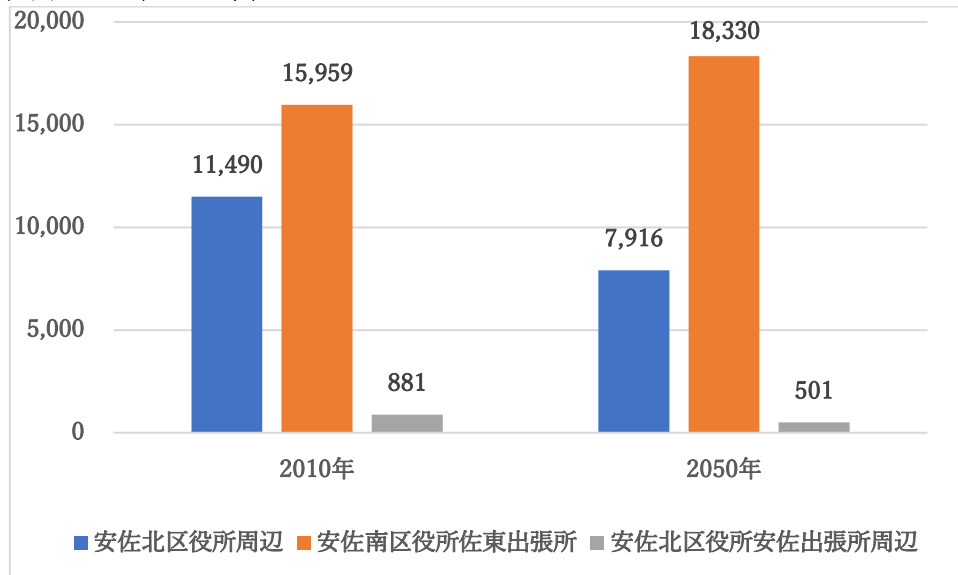
世帯数の推移

地区	H21年9月		H26年9月		R1(H31)年9月		R1(H31)/H21	
	世帯数	比率	世帯数	比率	世帯数	比率	世帯数	増減率
可部地区	23,990	47.7%	24,987	48.2%	25,940	48.7%	1,950	8.1%
佐東地区	17,492	34.8%	17,952	34.7%	18,573	34.9%	1,081	6.2%
安佐地区	8,837	17.6%	8,866	17.1%	8,770	16.5%	▲ 67	-0.8%
全体	50,319	100.0%	51,805	100.0%	53,283	100.0%	2,964	5.9%

○人口ピラミッド



○将来人口（2050年）について



支所	基点	2010年	2050年	増減数	増減率
可部	安佐北区役所周辺	11,490	7,916	-3,574	▲ 31.1
佐東	安佐南区役所佐東出張所	15,959	18,330	2,371	▲ 14.9
安佐	安佐北区役所安佐出張所周辺	881	501	-380	▲ 43.1

出典：国土交通省「メッシュ別将来人口推計」、「国土数値情報」
施設周辺1kmの人口推移

会員各位 【商工会 景況動向 会員ニーズアンケートについて】

日頃より、当商工会の活動にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
本調査は、地域事業者様の景況状況を把握させていただき、今後、当商工会が、事業者様に寄り添って経営支援を行うための基礎資料とするものです。
つきましては、調査の趣旨をご理解の上、是非ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。
なお、ご回答はすべて右側の回答欄にご記入いただき、**返信用封筒**又はこのまま FAX でご回答ください。 令和元年 8 月
広島安佐商工会(担当 宗岡) TEL:082-814-3169 FAX:082-815-1456

I．景況動向について

【問 1】
今年度（現在に至るまで）貴社の状況は、昨年度と比較してどうですか。（○はひとつ）

a 売上額	1. かなり増加	2. やや増加	3. 不変	4. やや減少	5. かなり減少
b 景況感	1. かなり好転	2. やや好転	3. 不変	4. やや悪化	5. かなり悪化
c 客数	1. かなり増加	2. やや増加	3. 不変	4. やや減少	5. かなり減少
d 資金繰り	1. かなり好転	2. やや好転	3. 不変	4. やや悪化	5. かなり悪化
e 取引先の状況	1. かなり好転	2. やや好転	3. 不変	4. やや悪化	5. かなり悪化
f 業界の業況	1. かなり好転	2. やや好転	3. 不変	4. やや悪化	5. かなり悪化

【問 2】
貴社の現在の経営上の課題について感じておられることをご記入ください。（自由記載）

回答欄へご記入ください⇒

II．商工会活動について

商工会では、経営支援サービス（税務、記帳、労務）・金融相談・国の制度利用のご案内、専門家派遣サービス（ミラサポ・エキスパートバンク）の利用斡旋等を実施しております。

【問 3】 これまで利用されたことのある商工会のサービスはありますか。（複数選択可）

1. 経営指導員による相談	10. 税金に関する相談	20. 簿記講習会の参加
2. 専門家派遣の利用	11. 経営部会 専任派遣員への参加	21. その他諸団体の参加 （ 回答欄にご記入ください ）
3. 融資に関する相談	13. 工業部会 短期研修旅行への参加	22. 広瀬産（スクラム安佐）への参 り同封サービスの利用
4. 創業の支援	14. 福利厚生部会 日帰りの旅行	23. 貯蓄共済制度
5. 事業承継の支援	15. 集回健診の受診	24. 小規模企業共済制度
6. 補助金申請の支援	16. 女性部 活動	25. 各種共済制度
7. 記帳に関する相談	17. 青年部 活動	
8. 決算代行に関する相談	18. 新年互礼会への参加	26. その他のサービス （ 回答欄にご記入下さい ）
9. 労働保険に関する相談	19. IT 講習会の参加	

【回答欄】

左欄の設問ごとの番号をご記載いただき、
破線を切り取り返信封筒にてご回答送付ください

【問 1】 ※番号を記載
a. [] b. [] c. []
d. [] e. [] f. []
【問 2】 ※自由記載

【問 3】 貴社とその他の項目 を記載 複数選択可	19. 地元事業者間での交流会 20. 展示会・懇談会の出席 21. 広瀬産（スクラム安佐）への参 り同封サービスの利用
【問 4】 貴社とその他の項目 を記載 複数選択可	22. 貯蓄共済制度 23. 小規模企業共済制度 24. 各種共済制度 25. 災害対応策に関する相談 26. その他のサービス （ 回答欄にご記入下さい ）
【問 5】 貴社とその他の項目 を記載 複数選択可	
【問 6】 ※自由記載	

【問 7】 ※自由記載

ご住所

事業所名

代表者名

年 齢	業 種
1. 建設 2. 製造 3. 卸売 4. 小売 5. サービス 6. 運輸 7. 不動産 8. その他（ ）	